

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）30

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43812

5/19

ゼネスト

(カ)
 (大政専外外務省)
 事務次長 奥野
 大臣官舎審判長 長
 秘書長 人電厚計
 文書会 官給
 調査長 領移長
 参企新調
 参債旅移
 参地中東
 長 北東西
 参北北保
 参一
 参西東洋
 西東
 近ア長 参審近ア
 長 参統
 参政技二
 国一理
 参協規
 長 参政経科
 参道内外
 長 参道内外
 長 参道内外

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

100

電信写

総番号 (TA) 20446
 71年 4月 15日 15時25分 沖繩 発着
 71年 4月 22日 15時39分 本省 着
 主管 北1
 外務大臣殿 高瀬 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

復帰協の5月セネスト

第422号 平

往電第379号に關し

復帰協は、2/日加盟組織の代表者会議を開催し、冒頭往電セネストを5月/9日に変更した。当地紙報道によれば、右につきナカソネ事務局長は2/日の記者会見において、予定変更の理由として、(1) 返かん協定調印が当初の予想より遅れていること、(2) けん労協の春闘のとり組み状況や4月末からの連休のため、5月/1日ではオルグ活動が十分に行なえないこと、等を指摘した由。

(了)

外務省

高瀬大使

アメリカ局長	参事	北米第一課長
条約課長	安全保障課長	
沖繩セネスト (本5月19日)		
復帰準備委員会三木-佐野の電話連絡次を通り (要旨は明朝電報連絡) 米北一		
1. 5月19日、セネスト南争方針		
復帰協、果労協、教取員会、全中労連、沖青協、婦連、社会大衆党、人民党、社会党、それぞれ、5.19セネスト南争委員会を設置した。(5月4日)		
2. 南争体制の確立		
(1) セネスト体制を早急に確立す。		
(2) 各地に実行委員会を再開し、地域		

GA-5

外務省

1149

体制を確立する。

(3) 革新共闘会議との連携を密にし、
協力体制を確立する。

3. 具体的 取りくみ

(1) オルグ活動の^徹徹底、5月15日までにゼネスト体制の確立。

(2) 教宣活動の^徹徹底。

(3) 復帰協への未加盟労働者へのオルグ活動

(4) 中小企業、農漁民対策

(5) 学校で特設授業を行なう。

(6) オルグ資料の準備

(7) 街頭宣伝の徹底、5月10日から開始。

(8) 立看板、ステッカー、ちらしの準備
特に那覇市内を重視。

(9) マスコミ対策の強化。

4. 県民総決起大会

(1) 名称：日米共同声明路線の返還
協定粉碎、完全復帰を要求する
県民総決起大会

(2) 日時：5月19日(水)午後2時

(3) 場所：^{おひの}奥武山公園

(4) テマ：1号線を米民政府まで、1時間坐込み。

5. 日程
—— 中 略 ——

4

5月14日(金) : 各組織セネスト批准投票

15日(土) : 各組織セネスト態度決定、ヒラ、カンパ - 音南始

16日(日) : 東京行動団出発(ゆめ丸)

17日(月) : 農漁民、中小企業の参加を決定

18日(火) : セネスト突入宣言、全国民へアピール

19日(水) : セネスト決行、東京行動開始、県民総決起大会

29日(土) : 東京行動団帰沖(浮島丸)

6. 省 田各

7. 軍用地の再契約の拒否、地主、権利と財産を守る会の結成の促進

GA 6

外務省

ソカヒ

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

372

大政事外外備官
 事務 典房
 次次
 臣官寫審審長長
 總總人電厚計
 聯文會當給
 關
 查長
 價移
 長
 參企折調
 參價派移
 參地中東
 長北北西
 長北北保
 中
 南審
 歐
 參西東洋
 西東
 近
 長
 審近ア
 次總經
 長
 統國万
 參政技二
 國一理
 參參協根
 長國
 參政經科
 長
 軍社專
 參道内外
 文
 長

電信写

總番号(TA) 22935
 71年5月7日15時36分 津糸電 主管
 71年5月7日15時51分 本省 著 北1

外務大臣殿 吉岡 大使 臨時代理大使 總領事 代理

5.19セネストをめぐる左右の動き

第479号 略

1. 5月4日、5.19セネスト闘争委員会が開かれた。同委員会には復帰協執行部のほかけん労協、教職員会、全ちゆう労連、おきせい協、ふ連、社大党、人民党、社会党の各代表者をもつて構成され、闘争体制の具体的取り組みとして、(1)各組織ともオルグ活動を徹底的に行ない、5月/5日までにはセネスト体制を確立する。(2)教宣活動の開始。(3)復帰協への未加盟、未組織労働助へのオルグ活動。(4)中小企業、農漁民対策。(5)各級学級での特設授業の実施。(6)資料の準備。(7)がい頭宣伝。(8)立かんぼん、ステッカー、チラシの準備。(9)マスコミ対策の強化。をとり上げている。

5月/9日当日は午後2時にオーノ山公えんにおいて日米共同声明路線の返かん協定ふんさい。完全復帰を要求するけん民総決起大会を開き、大会後、米民政府に抗議デモ、/時間のすわり込みを行なう予定。(りゆう警としてはこれに如何に対処するか目下検討中との由。)セネストまで

外務省

カ
大政事外外儀官
務務 典房
次次
臣官官審審長長
儀儀人電厚計
書文会營給

調査長
参企析調
領移長
参領旅移

ア 地中東
長 北東西
米長 参北北保
中南審
歐 参一
長 参西東洋
西東

近ア長
経 参書近ア
次総経国資
源
長 参貿統国
経協長 参政技二
条 国一理
長 参参協規
国 参政経科
長 参軍社專
情長 参道内外
文長 一二

電信写

注意 部の内 (号) 55
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

総番号(TA) 23945 主管
71年5月13日11時37分 沖繩 発 北
71年5月13日11時40分 本省 着

外務大臣殿 吉岡 大使 臨時代理大使 総領事 代理

5・19ゼネストに対する全軍労の動き

第496号 平

往電第493号に関し

全軍労中央闘争委員会は、5月11日ゆうなそうにおいて5・19ゼネスト参加を決定した。当日は24時間ストを決行し、カテナ第2ゲートに午前6時より正午まで約800名のピケを張り、その他の各ゲートについてもピケをはり消防、水道以外は、メイド、特免業者を含めせしめる予定なる由。

(了)

外務省

カ
大政事外外儀官
務務 典房
次次
臣官官審審長長
儀儀人電厚計
書文会營給

調査長
参企析調
領移長
参領旅移

ア 地中東
長 北東西
米長 参北北保
中南審
歐 参一
長 参西東洋
西東

近ア長
経 参書近ア
次総経国資
源
長 参貿統国
経協長 参政技二
条 国一理
長 参参協規
国 参政経科
長 参軍社專
情長 参道内外
文長 一二

電信写

注意 部の内 (号) 55
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

総番号(TA) 24268 主管
71年5月14日14時59分 沖繩 発 北
71年5月14日14時41分 本省 着

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

けん労協、5・19ゼネスト参加を決定

第506号 平

往電第496号に関し

13日午後、けん労協はナハ市ゆうなそうで評議員会を開き、ゼネスト参加を正式に組織決定した。スト参加予定組合は、全軍労(18,000人)、官公労(8,754人)、全てい(2,499人)、自治労(3,471人)、私鉄(2,681人)、りゆうきゆう新報労(203人)、全専売(307人)など30組合、4万5千人に達している由。

(了)

外務省

ソカヒ
大政事外外機官
務務典房
次次
巨官官審審長長
備備人電厚計
書文会當給
調査企析調
長領移
参領旅移
ア 参地中東
長北西
米長(参北北保)
中南審
参一
欧参西東洋
長西東
近ア長経
参書近ア
次総経国資
源
長参賀統三万
参政技二
国一理
参条協規
長国参政経科
長軍社專
参道内外
長文長一二

注意 (部の内 号)

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

160

総番号(TA) 24859 主管
71年5月17日14時30分 中 緬 発 米北1
71年5月17日14時40分 本 省 着 米北1

外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

官公労、5・19セネストのすと権確立せず

第519号 略 至急

往電第506号に関し

1. 官公労は5・19セネストに対するスト権投票を行ない、15日ゆう開票した結果、スト賛成47%と5割をわつたためスト権確立できず、拡大中央闘争委を開き5割年休行使による決起大会参加に戦術を切りかえた。

ナカヨシ官公労委員長は、スト権確立できなかつたことは残念だ。5・19セネストは成功させないといけませんが、今後への影響は非常に大きいと述べている由。

2. なお、GRI内部においては、かねてより知念及びトミカワ等は先般の4月15日のスト参加者の早急なる処分を主張し居り、右がこう間に宣伝され居ること、投票が記名で行なわれたこと等が今次結果を見るに至つた有力な原因であると思われる。

(了)

外務省

秘

ソカヒ
大政事外外機官
務務典房
次次
巨官官審審長長
備備人電厚計
書文会當給
調査企析調
長領移
参領旅移
ア 参地中東
長北西
米長(参北北保)
中南審
参一
欧参西東洋
長西東
近ア長経
参書近ア
次総経国資
源
長参賀統三万
参政技二
国一理
参条協規
長国参政経科
長軍社專
参道内外
長文長一二

注意 (部の内 号)

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

90

総番号(TA) 24860 主管
71年5月17日14時33分 中 緬 発 米北1
71年5月17日14時41分 本 省 着 米北1

外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

けん労協せい年部、5・19セネストに向けて決起大会

第520号 平

往電第506号に関し

けん労協せい年部約100名は15日ゆう、市内マキシ、ウガン広場において5・19セネストに向けての決起大会を開き、大会後、ヨギ公えんに向けてデモ行進を行なつた。

途中日本政府ヨギ事務所前でシュプレヒコールを行ない、その後警察側としよう突、警察官4名が負しよした由。

(了)

外務省

ナ

ソカヒ
大政事外外儀官
務務 典房
次次 長
臣官官審審長長
儀儀人電厚計
曹文会管給

調査長
領移長
参企析調
参領旅移

ア 参地中東
長 北東西
参北北保
中南審
参一
参西東洋
長 西東

近ア長経
参書近ア
次総経国資源
長参質統三万
参政技二
国一理
参条協規
参政経科
長情長文長
軍社専
参道内外
一

注意 (部の内号)

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

91

電信写 総番号(TA) 24875 主管

71年 月 日 時 分 発着
71年 月 日 時 分 本省 着

外務大臣殿 高瀬大使 臨時代理大使 総領事 代理

コザで反米米人集会開かる

第52/号 平

1/6日午後、コザ市総合グラウンド 広場において反米
GI集会が開かれた。反米活動家マイケル・ピーター、バ
ーバラ・パイらが中心となり、このも章をしたGI40人
、おきなわ人120人が参加した。かかる反米米人集会が
開かれたのは初めてであり、シマブクロ中東地区救済委員
長は米軍人でありながら軍の弾圧にくつせず闘っているこ
とを高く評価すると述べた。

(了)

ソカヒ
大政事外外儀官
務務 典房
次次 長
臣官官審審長長
儀儀人電厚計
曹文会管給

調査長
領移長
参企析調
参領旅移

ア 参地中東
長 北東西
参北北保
中南審
参一
参西東洋
長 西東

近ア長経
参書近ア
次総経国資源
長参質統三万
参政技二
国一理
参条協規
参政経科
長情長文長
軍社専
参道内外
一

注意 (部の内号)

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

826

電信写 総番号(TA) 24875 主管

71年 月 日 時 分 発着
71年 月 日 時 分 本省 着

外務大臣殿 高瀬大使 臨時代理大使 総領事 代理

5.19セネスト対策軍民会議ならびに前々集会

第53/号 略 大至急

往電第5/9号に關し

1./8日午前民政府において米りゆう軍民会議が開かれ
、日本政府側からナカヤマ、アランがオブザーヴァーとし
て出席した。りゆう警側より、明日午後2時よりヨギ公え
んにおいて約1万名(申請5,000名)の集会が開かれ
、その後民政府に向かいデモをかけ、民政府前にてすわり
込みを行ない、解散は午後7時30分になっていること。
右よく200-300名がこれにぼう書を加えるであろう
旨の状況報告があつた。憲兵隊司令官はまさつを避けるた
め、本件デモをはじめおきなわ全島各地で行なわれるデモ
に対し、軍用道路の使用を認めること、民政府前では交通
規制を行ない、車をうかいさせること、民政府前には鉄条
もうを張り、けが人を避けるため上部に張るようにするこ
と、りゆう警とは密接な連絡をとり、つとめて米軍の出動
は避けること、コンディション・グリーンを本日午後4時
より20日午前6時まで発令すること、事態が悪化した場

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

合にはコンディション・グリーン/に切り換える旨の発言があつた。

2. りゆう警によれば、18日午後6時より、5・19セネスト前やさいとしてナハ市カミハラ小学校においては約3,000名の5・19セネスト突入宣言大会、フテンマ第2小学校横広場においては約1,000名の全軍労スト決行宣言大会、その他ゴマ、ヨナバル、イトマン、名護にても同様な集会が開かれる予定。りゆう警としてはりゆう警本部警備課に総本部(47名)を設け、各地区にそれぞれ警備本部を置き1,000名3コ大隊の最大動員をもつて対処する予定との由。

(了)

(字 白紙 1730 18/5)

外務省

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

333

総番号(TA) 75-075
 71年5月19日11時00分 沖 総 発
 71年5月19日11時11分 本 省 着

外務大臣殿 高瀬大使 臨時代理大使 総領事 代理

5・19セネスト

第533号 平 大至急

往電第531号に関し

1. スト主催者側発表によれば、復帰協加盟のけん労協、教職員会、全ちゆう労連の組織労働者58,000人ほか。未組織労働者、農漁民、学生を含め約7万人以上がセネストに参加した。官公庁組合はスト権確立せず年次有給休かの形で参加した。同盟系9,000人。基地関係業者はストに参加しなかつた。午前4時コンディション・グリーン/が発令された。

2. りゆう警本部によれば、午前7時現在32カ所において、1509人がピケに参加している。カテナ基地第2ゲートにおいては核マル派学生を含め550人がピケに参加している。

18日午後9時45分、マキミナト、ヤフソゲート前で中核派学生51人、マキせい29人によるデモがあり、警官隊としよう突、1人たいほされた(午後11時50分釈放)。なお、投石により警官2人が重しようを負つた。18

外務省

- ソカビ
- 大政事外外務官
- 務務典房
- 次次典房
- 臣官官審審長長
- 儀総人電厚計
- 書文会営給
- 調査長
- 参企析調
- 領移長
- 参領旅移
- ア 参地中東
- 長 北東西
- 米 参北北保
- 中南番
- 欧 参一
- 長 参西東洋
- 西東
- 近ア長
- 参書近ア
- 経 次総経国資
- 源
- 長 参貿統三万
- 経 参政技二
- 協 国一理
- 長 参条協規
- 国 参政経科
- 長 軍社專
- 情 参遣内外
- 文 一二

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

日午後9時10分。住民の通報により。ナハ市マツカワ/37において火えんびん製造現行犯を押え。フロント8人たいほ。火えんびん8本。ガソリン2かん。かく材。つるはし等を押取した。

19日午前8時3分。日思会。約100人が立法院にてゼネスト反対の集会を開き。そのあと行動隊2-30人は官公労宣伝カーにぼう書し。市職員等7人にしよう書を与え。1人がたいほされた。

学校側の休校状況は以下の通り。

小学校 244校(全校) 教員4,864人 生と137,330人

中学校 154校(全校) 教員3,419人 生と7,951人

高校 50校(全校) 教員2,756人 生と54,946人

大学 5校(全校) 教員676人 生と9,416人(了)

注意(部の内号)

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

246

電信写

71年5月19日15時45分 沖繩 発信
71年5月19日15時57分 本省 着

外務大臣殿 高瀬大使 臨時代理大使 総領事 代理

ヤラ主席のゼネストに対する談話

第535号 平 至急

往電第533号に関し

ヤラ主席は、18日午後記者会見を行ない、復帰協の5/19ゼネストに対して次のような談話を発表した。

現在、本土政府と米国政府との間で進められているおきなわの返かん協定の内容に対しておきなわけん民の中に大きな不満や不安があり、要求があることは事実であり、その心情はよく理解できる。しかし、その要求の方法として、このたび諸団体において計画されている手段での訴えに対しては主席としてはこれをぜ認することはできない。そのため私は、これまで関係者に対してその方法手段をしん重に検討するよう要望し、促してきた。然るに現実の問題としてスト行為が行なわれる様相にあることに対し、行政責任者として心をいためているものである。関係者におかれは、今回の要求行動によつてけん民の生命、財産あるいは生活に不安な影響が及ばないよう自重、自かいを要請する。政府としては、おきなわの復帰に当つては、けん民の

ソカ
大政事外外儀官
務務典房
次次
臣官宣審審長長
儀総入電厚計
書文会管給

調査企折調
長領移長
参領旅移

参地中東
長北東西
参北北保
中南審
一
参西東洋
長西東

近ア長
参書近ア
次総経国資
源

長参質統国万
経協長二
長国一理

参条協規
長国参政経科
軍社專

参道内外
長文長
一二

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

要求が十分反えいされるよう真げんに努力してきた。今後
も一段と力をつくす決意である。そのため私は近く上京し
。総理をはじめ。関係当局に対し。強く要請し正しい復帰
の実現を求めていくつもりである。

(了)

注意 部の内 号)

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 25737
71年5月18日18時23分 沖繩 発
71年5月19日19時10分 本省 着 北1

外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

5・19セネスト

第539号 平 大至急

往電第533号に関し

- 1. 19日午後2時よりヨギ公えんで5・19セネスト総括大会を開き。約2万人(主催者発表5万人)が集会し。返かん協定ふんさい。完全復帰を訴え。午後3時40分民政府に向つてデモ行進を開始した。
- 2. 午後2時34分ころ。日思会と核マル学生等を主体とするデモ隊としよう突。投石乱闘を行なつたが。午後2時43分警察機動隊が出動して両者を規制した。たいほ者はなかつた。負しよう者。日思会1人。警察3人。その他不明。付近の家おく等には殆んど損害はなかつた。

(了)

(五管課に軍事文書。19日19:45)

ソカヒ
大政事外儀官
務典
次典
官官番番長長
備録人電厚計
書文会當給

調査長
領移長
参企析調
参領旅移

ア 地中東
長 北東西
参北北保
中南番
欧 参西東洋
長 西東

近ア長
経 参書近ア
次総経国資源
長 参質統国万
経協長 参政技二
条 国一理
参条協規
長 参政経科
国 軍社専
参内
文長 一
長 二

ソカヒ
 大政事外務官
 務次典房
 臣官官審審長長
 機総人電厚計
 書文会當給
 調査長領移長
 参企析調
 参領旅移
 ア 地中東
 長 北東
 長 北北保
 中南審
 参一
 参西東洋
 長 西東
 近ア長経
 参書近ア
 次総経国資
 長 参質統三万
 経協長 参政技二
 参国一理
 参条協規
 長国 参政経科
 長 参社專
 長 参通内外
 文長 一二

注意 (部の印号)

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

225

電信写

総番号(IA) 25166
 71年 5月 19日 22時 03分 仲絶 発
 71年 5月 19日 22時 23分 本省 着 米比

外務大臣殿 高瀬 臨時代理大使 総領事 代理

5. / 9 セネスト。デモ

第54/号 平 至急

注電第539号に関し

1. 午後5時20分デモ隊約14,250名は民政府前に到着し、すわり込みを開始した。

中核派学生3名は正門に用意されたバリケード用コンテナによちのぼり、彼等が持つてきた星条きをやいて氣勢を上げようとしたが、放水によつて十分にやけなかつた、更にフェンスの中に火えんびんやガス弾を投げ込み中、居たアメリカ兵に向つて投石を行なつた。アメリカ兵もデモ隊に投石し、投石合戦のような場面があつた。この状況を見て警察側は午後6時4分規制に乗り出し、1名(おきなわテレビ・カメラマン)を公務執行ぼう害罪で検挙した。警察官は投石により多数負しようした。米兵も数名負しようした模様(うち1名は火えんびんによるものの模様)である。午後6時30分デモ隊は引きあげた。

2. 日思会等の右よぐは、民政府前では別にそ止行動はとらなかつた。なお、午後2時過ぎヨギ日政事務所前におい

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

て日思会とデモ参加者とがしろう突した際の負しよう者は、その後の調査によれば、日思会1名、警察側3名、労組側7名との由。

(了)

ソカ
レ
大政事外外儀官
務典房
次官審審長長
官官審審長長
備総人電厚計
書文会營給
調査長
長
参企析調
参領旅移
ア
参地中東
長北東西
米
参北北保
中南番
参一
歐参西東洋
長西東
近
了長
参書近ア
経次総経国資
源
長参貿統
政技二
国一理
条
参条協規
長
国参政経科
軍社專
長情長文
長文
一

(注 意 部 の 内 号)

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

総番号 (TA) 553-2
71年5月20日12時03分 沖 縄 発 着
71年5月20日12時16分 本 省 着

外務大臣殿 高瀬 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

5・19ゼネストの結果

第542号 平 (秘扱い)

往電第541号に関し

1. 5・19ゼネストの結果について、りゆう警本部のま
とめたところによると次の通り。

- 検挙者 13名
- (内訳) きよう器準備集合罪 10名
- 公務執行ぼう害罪 2名
- 器物は棄罪 1名
- 負しよう者
- 警察官 12名
- 労組員 7名
- 日思会 3名

なお、米兵の負しよう者数は米側に照会せるも不明

2. 今回デモの持ちよう
- (1) 規模は、4・28ストとほぼ同じであつた。
- (2) 革新共闘会議推せん、今回参議院議員こう補キンジ
ヨウ・チカンの他、上原コウスケ、米原イタル (衆院共産

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

党)等があいさつのおとデモの先頭を歩き、参議院選挙の
事前運動の感があつた。

(3) 日思会等右よくと革新系学生、労組員とのしよ突
が激しかつた。

(4) 教職員会が小中学校全校に特設授業を設け、ゼネ
ストに参加した。これは1967年2月24日の教育2法反
対デモ以来のことである。

(5) 中核学生により星条きをやこうとした事件が起つた
が、これを国き損かい罪 (けい法92条) で問ぎするにつ
いては米国政府の請求が必要であるが米国側は従来例よ
りみて請求はないものとみられている。

(6) 警備力については従来同様若干の不安がある様思料
されるが、昨日えん席においてランパートは本使に対し「
スト」が過激のことなく終了したこと及びりゆう警の有能
なる警備につき言及する処があつた。

(了)